

令和 8 年 3 月 日

上市町長 中川 行孝 様

上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会
会長 山崎 正晴第 8 次上市町総合計画後期基本計画及び第 3 期上市町まち・ひと・しごと
創生総合戦略について（答申）（案）

令和 7 年 8 月 26 日付け上企第 49 号で諮問のあった第 8 次上市町総合計画後期基本計画及び第 3 期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について、本審議会でも慎重に審議した結果、下記の意見を付して別添のとおり答申します。

なお、計画の推進に当たっては、本審議会の審議過程で出された意見を尊重し、まちの将来像の実現に向け、積極的かつ着実に取組みを推進することを要望します。

記

- 1 上市町では人口減少傾向が継続する中で特に若年女性の転出超過が拡大するなど、依然として人口対策が喫緊の課題となっている。若者が地元を誇りと愛着を持ち、将来を描けるまちづくりや、住みたい・住み続けたい・選ばれる町の実現、ひいては住民の満足度向上を目指し、P D C A サイクルによる進行管理を徹底し、地方創生の取組みを強力に推進されたい。
- 2 人口減少社会の中で、上市町が持続可能なまちづくりを進めるためには、移住定住促進策の推進に加え、行政運営や地域サービス、産業と仕事の活性化や人材育成にデジタル技術を活用しながら、暮らしの質の向上を図ることが不可欠である。併せて、地域の魅力発信や賑わいの創出を図るためにも、町の魅力のさらなる向上と周知広報が肝要であり、町内外への情報の発信力と伝達力の強化に努められたい。
- 3 持続可能なまちづくりのため、本計画を広く町民へ浸透させ、町が目指すべき将来像の共有を図り、町民それぞれが地域の課題を我が事として捉えることが重要である。本計画への理解を深めた町民、関係団体・事業者と行政が共通の目的に向かって力を結集し、オール上市の体制で地域課題の解決に取り組まされたい。